

# 土壤作物栄養学実習

6月22日以降の圃場作業

バレイシヨ試験区の除草。  
6月22日（月）～6月23日（火）





バレイシヨの疫病防除。6月23日（火）  
レーバスフロアブル+オルトラン1000倍





別科圃場西側と東側の表土の色。6月22日（月）  
採取、6月23日撮影、ソバ圃場の除草と培土。



# 土の色の違いについて (1)

- 前のページの土は左の黒い土がシラカバ並木に近い側の牧草地で、右の明るい茶色の土が別科圃場の東側の大きなながし場の付近の畑で採取したものです。どちらも最表層の土です。
- 別科圃場は、畜大内の土壌分布の図でも示したように、湿った黒い土の分布域と古砂丘の土の分布域が隣接しているところにあります。
- 湿った地点では、有機物が分解されにくく、火山灰が腐植化した有機物を保持するので、土の色は黒くなります。

## 土の色の違いについて (2)

- 湿った地点では、有機物が分解されにくく、火山灰が腐植化した有機物を保持するので、土の色は黒くなります。
- 古砂丘に近い地点は、支笏の軽石層 (Spfa1) や恵庭火山砂およびローム層 (En-a) が厚く堆積しているので、水はけが非常に良いところです。
- そのため、土壌中の有機物はいったん地表にたまって、長い年月の間に酸化分解を受けて、より速く減少していきます。そのために土の色が明るい褐色となります。



ポット試験、ハツカダイコンの生育。  
本葉が出始めました。6月23日（火）



## ビニールハウス北側の圃場。6月23日（火）



6月22日（月）大豆の欠株が多いので、ダイコン（耐病総太）の畝の延長上にあった大豆を2本目の大豆畝に植え替えました。大豆移植のあとの畝には、ダイコン（宮の泉）を播種しました。



# 花豆と大豆。6月23日（火）



紅花花豆と白花花豆



音更大袖振大豆



# バレイショ圃場の培土 6月24日 (水)



上2枚：有機肥料区、下2枚：化学肥料区



# バレイシヨ圃場の培土 6月24日 (水)



上2枚：北から、下2枚：南から、  
左：化学肥料区、右：有機肥料区



# ビニールハウス北側の圃場の培土 6月24日（水）



左上：バレイショ、右上：大豆、  
左下：ビーツ、右下：全景



# ポット試験ハツカダイコンの生育 6月25日 (木)



左上：無リン酸区と無肥料区、右上：無カリ区と無窒素区、  
左下：パールユーキ区とNPK 標準区、  
右下：パールユーキ+PK区とパールユーキ区

# ポット試験ハツカダイコンの生育 6月25日 (木)



上：無カリ区から無肥料区まで、  
下：パールユーキ +PK区から無カリ区まで



# ニンジンの苗 6月25日 (木)



# ソバの生育 6月25日 (木)





# 別科花壇のソバ 6月25日 (木)



去年のこぼれ種から発芽したもの。花が咲いているものから発芽したばかりのものまでである。

# ソバ栽培の適地

ソバ：

曇天・山・少数民族 四川省・雲南省の山岳地帯。涼しい曇り空を好む。雲や霧が多く、他方、放射冷却による急な温度低下が少ないために霜が降りにくい。

コメ：

晴天・平地・強大な国家 揚子江（長江）下流部。

ソバとコメ：正反対の文化と風土のくみあわせ。

「そば学」井上直人著 p.87 による。



# ソバの間引き 6月26日



# ソバの芽

- ソバはあまり間引きをしなくても生育するそう  
です。また、畝で栽培することは少なく、種を  
ばらまいて栽培することが多いようです。
- しかし、畝で栽培して土寄せを適切な時期にし  
てやると、丈夫で倒れにくく育つそうです。
- 間引きすると、残された株がその分だけ大きく  
育つので、手間を厭わなければしたほうが良い  
と思います。
- ソバの芽はルチンなどのポリフェノールを多く  
含み、そのわりに苦くなく、おいしい野菜（ス  
プラウト）となります。



# バレイシヨ圃場 南から 6月26日



南西：  
化学肥料区



南東：  
有機肥料区

# バレイシヨ圃場 南から 6月28日 (日)



南西：  
化学肥料区

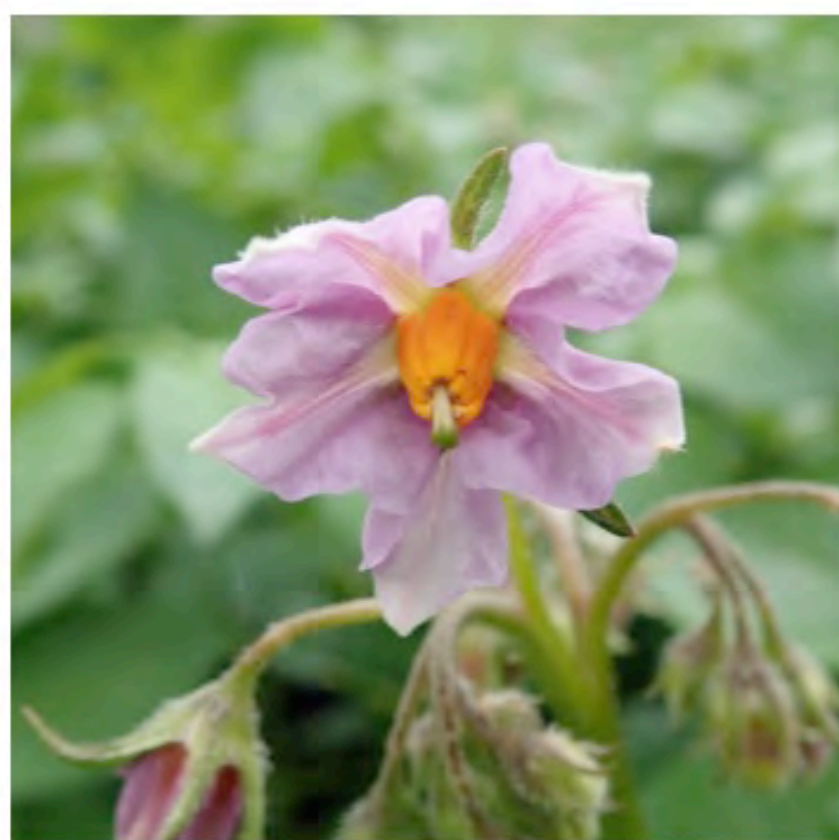


南東：  
有機肥料区

2回目の疫病防除  
を行った。  
ジマンダイセン＋  
ペイオフ



バレイショ キタアカリ開花 6月28日（日）



# ポット試験ハツカダイコンの生育 6月28日（日）



赤いダイコンが顔を見せています。  
今年は無肥料区でも  
それなりに生育して  
います。去年バレイ  
ショを栽培した畑の  
作土を用いたためと  
思います。



# ビニールハウス北側の圃場 6月28日（日）



青虫などの害虫による食害を防止するため、ハクサイとキャベツに寒冷紗をかけました。

# コマツナとダイコン（つや風） 6月28日（日）



雨のおかげで、  
コマツナが急に  
大きくなりました。  
た。





# 花豆とダイコン（宮の泉） 6月28日（日）



# 出席確認メールのお願い

出席確認のため、**授業終了後、当日中に筒木宛**にメールを送ってください。

送り先は； [kiyosi.tutuki@icloud.com](mailto:kiyosi.tutuki@icloud.com)

メールのタイトルは、「**別科実習出席確認、学籍番号、氏名**」としてください。

メールの本文には、簡単で良いので**授業の感想**などを書いてください。



# 6月29日（月）の課題

バレイシヨの病気とその予防・防除法について調べて報告しなさい。

また、今までの課題を未提出の人は提出してください。

過去の課題はホームページの過去のpdfで確認のこと。

課題は筒木宛メールで提出してください。

[kiyosi.tutuki@icloud.com](mailto:kiyosi.tutuki@icloud.com)

# 課題提出にあたっての注意

- 課題の提出にあたって、他の人と全く同じ内容をしかも間違った形式で送ってくる人がいます。調査などを、友達どうし一緒に行うことは良いことですが、レポートは自分で考えて自分で作成して送ってください。



# 今後の予定

7月4日（土）振替授業日 休講

7月6日（月）バレイショ栽培試験 2018年/2019年の結果の説明（オンライン）

7月13日（月）以降は対面実習 別科圃場に集合

7月13日（月）バレイショ栽培圃場の除草・防除

7月20日（月）別科圃場の土壌調査。

7月27日（月）ポット試験、ハツカダイコンの収量調査。

8月3日（月）別科圃場での土壌pH, ECの測定。

8月10日（月）バレイショの収量調査